

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳



【蓮の花】

写真提供：櫻井 龍太君

第1867回

<ソング> 我等の生業
<ソングリーダー> 櫻井 龍太君



【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
レイ・クリンギンソミス

■ 会長報告 石垣 善康君

本日は、青島克郎ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会です。宜しくお願いいいたします。

内容ですが、各テーブルメイト別に分かれ、魅力あるクラブづくりの為のテーマについて討議頂き、リーダーに発表をお願いします。

後ほど、ガバナー補佐に講評を頂き、今後の藤枝ロータリークラブの運営に大いに参考にいたしたいと思ひます。宜しくお願いいいたします。

8月は会員増強月間となっております。先ほどは、江崎春城様の入会を全会一致でお認め頂き有り難うございます。8月25日の夜間例会の会場で入会式を行いたいと思ひます。

ここ数年、おおくの方が入会いただきました。それ以前も、藤枝ロータリークラブの雰囲気は、家族的で和やかな空間で、例会に出席する事が、何となくホットする時間でした。そして、2年ほど前より多くの新会員が入会して頂き、例会の雰囲気が、より一層家族的に、そして明るく、和やかになったとほとんどの会員の思うところだと確信しています。

会員が増えるという事は、それだけでクラブが活性化するのはいうまでも無く、個々の会員にとっても、それぞれが楽しみが増えるという事です。

入会いただいた中に、初めて女性会員に入会いただきました。お二人とも、すっかり溶け込んで頂き、和やかな会の雰囲気づくりに貢献いただいております。有り難うございます。

本日は、女性会員についての報告を少しさせて頂きます。

30年ほど前まで、女性会員の存在は無く、又RIも認めていませんでした。しかし1978年、カルフォルニア州のクラブが3名の女性を入会させました。RIは、女性会員の入会を認めず、クラブの認証を取り消したのでした。

その後、裁判となり、当然RIの主張は退かれ、10年後の1989年規定審議会で女性会員の入会が認められたのでした。

日本では、すぐに北海道のクラブに松田郁子様が入会、その後着実に女性会員が増え、いまや世界で14万人、全ロータリアン12%をしめる事となっています。残念ながら、日本ではその割合が4%前後ですが、今後大いに入会をして頂きたいところです。

本日を持って、この例会場での例会が最後となります。39年前の創立時には、スカイボールでした。そして4年目に志太保健センターに変わり一年を経過した1976年にこの小杉苑のこの部屋で例会が開かれるようになり、34年が経過、残念ながらこの部屋での最後の例会を迎えた訳です。機会があれば、スカイボール、志太保健センターでの例会の様子など、お聞きしたいものです。それでは、本日のクラブ協議会が活発に行われることをお願いし会長報告といたします。

幹事報告 副幹事 大塚 博巳君

● 米山梅吉記念館より

秋季例祭 9月18日(土) 14:00~

米山梅吉記念館ホール

賛助会入会のお願い

米山梅吉記念館 館報秋号が届いております。

- 藤枝市柔道祭臨席お礼と終了報告が届いております。
- 白山ロータリークラブより「2010～11年度 クラブ要覧」が届いております
- 国際ロータリー第2580地区より「クリアランド・プロジェクト・カンボジア」2000-2010の記念誌が届いております。

出席報告

大塚 高弘君

| 本日のホームクラブ 出席者 | 前回の補正出席者 |
|------------------|----------------|
| 33 / 42 78.57% | 34 / 42 80.95% |

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

落合君 酒向君 杉山君 平君 玉木君
池ノ谷君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

石割 郁子君(静岡西) 杉山 静一君(焼津)
池ノ谷 敏正君(焼津) 石割 郁子君(焼津)

ビジター

青島 克郎 静岡第5分区ガバナー補佐
後藤 功 静岡第5分区ガバナー補佐事務局長

ガバナー補佐訪問

青島 克郎
ガバナー補佐



ガバナー方針伝達のクラブ訪問が全て終わり、2回目のクラブ協議会の訪問も本日が済みますと残り2クラブだけとなりました。その間にガバナーに随行してのクラブ訪問も始まって参ります。

暑い中、連日のクラブ訪問に携帯電話で会社に仕事を指示を出しながら、いやな顔一つせず同行してくれています後藤さんには頭が上がりません。私からも前回の訪問でクラブごとの違いについて少し話をさせていただきましたが、先日のテーブルメイトの卓話で後藤さんからも各クラブの事に

ついてお話がありました。もっともっとお話ししたかったのでしょうかでも時間の関係ではなせなかったことが多かったのではないかと思います。

9年前に小澤さんに同行して各クラブを回ったときにはそれほど強い印象は持たなかったのですが、今回は各クラブの計画書や効果的なロータリークラブになるための活動計画の指標など多くの資料が手元にあり訪問前に目を通します。

計画書一つとってもクラブごとに記載内容や表し方が大きく違いますし、各委員会の活動計画や奉仕事業の内容も実に様々です。多くのクラブが事業計画に合わせて地区補助金などの申請も積極的にやっていますし、マッチンググラウンドなどの国際奉仕プログラムに取り組んでいるクラブもあります。

例会の雰囲気や運営でも大きな違いがあります。このように分区内の9つのクラブの中だけでも非常に多くの情報がありますが、多分各クラブにおいては他のクラブのこれらの貴重な情報という財産をご存じないのが実情ではないかと感じます。クラブの独自性は重要ですが他のクラブのことも知った上で自のクラブのことを考えることも必要だと思います。他クラブの情報を参考にされ、時には積極的に取り入れることも良いのではないのでしょうか。

ロータリーは一つ一つのクラブの存在と活動が最も重要であり、それこそが基盤でありますが、国際ロータリーという世界組織の一員でもあります。大きな組織を運営していくためには細かな定款や細則などの規約も必要になりますし、長期計画などの策定やCLPのような指針にも同調していかなければなりません。

しかし、これらはロータリーの各クラブを活動的で、効果的な良いクラブにするためのものですから、これらのことが逆にクラブの活動を縛り、クラブの自由な発想を阻害するものではあってはならないと思います。

本日のクラブ協議会におきまして、報告をされる方の発表と同時に出席される皆様からの遠慮のない自由な意見が多く出され、それらがクラブの

今後の発展に結びついてくれることを願ってご挨拶とさせていただきます。

クラブ協議会 「魅力あるクラブづくり」

A～E テーブルメイト議論

A グループリーダー

栗原 毅君

「ロータリーの認知度の向上」



B グループリーダー

山田 昭雄君

「効果的な奉仕活動」

最近、これといった目に見える奉仕活動を行なってはいませんが、クラブ会員の年齢、職業、立場を考えた上で継続してやれる、無理のない奉仕活動はやっていきたいとみなさん思っておられるのではないのでしょうか。

それではどんな事に取り組んでいけばよいか、一つには行政で行なっているものに便乗させていただく方法があります。或いは行政との相談で行政がやりたくても出来ない部分、又足りない部分を相談の上検討するのも良いとおもいます。

又、会員の中からこういう奉仕活動をクラブとしてやりませんかとのお話があれば大変、けっこうだと思います、一度全員に計ってみれば、良い提案があるのかもしれない。



C グループリーダー

杉浦 良一君

「楽しめる例会」

親睦活動を今まで以上に積極的に。特に新会員の皆様には新しい計画を取り入れ、楽しい藤枝口



ロータリークラブの為に積極的に取り組んで、楽しめる藤枝クラブに。そして、会員増強にもつながるよう活動して行きたいと思います。

D グループ

副リーダー

柳原 寿男君

「出席率向上」

出席率向上を数のみで取りあげるなら、当クラブはまず長期欠席者を無くすことにより、長年にわたる静岡第5分区での出席率下位低迷から脱け出せるものと思われます。しかし、現実には諸般の事情もあり、十分な検討と会員相互のコンセンサスが必要です。

メイクアップについても、受付だけで済むというやり方は、本来のロータリー精神にもとると言われても仕方ありません。

「出席率向上」は他のテーマ「楽しめる例会」や「会員増強」と共通するものがあります。出席するためになる情報がもたらされ、会員が満足して例会場を後にするなら又、次の出席につながるでしょう。会員はプラスになる卓話を期待し、卓話者（委員会報告も同じ）も各々の立場で新鮮な情報を提供するように心掛けるべきと思います。

ロータリーの「四つのテスト」は、少しでも近づき実践しようと努力することにあります。

改めて

1. 真実かどうか
2. 厚意と友情を深めるか
3. みんなの為になるかどうか

口ずさんで欲しいと願うものです。



E グループリーダー

櫻井 龍太君

「会員増強」

会員増強は、ロータリークラブの永遠の課題で



ありますが、長びく不況のなかでは大変に困難な問題でもあります。

今日のクラブ協議会において、提起された意見を整理し、まとめた結果を次のとおり報告します。

1. 職業分類表を見直し、空席の職業について再検討する。
2. 退会者の子弟のうち適任者を発見する。
3. 地域のなかの立派な方々に卓話を依頼し、これを切っ掛けとして入会を求める。
4. 最近入会された、若い会員・女性会員につき、同世代の者をターゲットとして、増強に資する。



(担当 / 鈴木邦君)